

2026年度第7回 数理物質系学際セミナー (全10回)

2026年11月6日(金)
11:30開始 (35分間)

筑波大学

総合研究棟B棟112号室

(zoomハイブリッド配信あり)

参加費無料

数理物質系および関連
センターの構成員(学生
含む)は申し込み不要
です。

そのほかの方は、事前申
し込みが必要です。



事前申し込み用URL



講演者：白木 賢太郎 教授(物工)

タンパク質溶液の研究



タンパク質溶液の研究について紹介します。例えば、卵白を加熱すると固まりますが、そこにありふれたアミノ酸のアルギニンを加えるだけで、固まらなくなります。砂糖や塩を入れた場合とはなぜ違う振る舞いになるのか、こういう現象はオープンキャンパスにもぴったりの実験ですが、分子構造やタンパク質との相互作用を調べてみると、凝集抑制剤と呼べる典型的な形を持つことがわかります。この仕組みがわかれば、卵白や豚肉や大豆タンパク質など食材への応用はもちろん、化粧品成分である難溶性分子を溶かしたり、毛髪にやさしいパーマ液を開発したり、試薬キットとして販売できたりもします。身近な発見がどのように価値を生み出すのか、学会の講演などとは違う視点で、研究をどう面白いと感じているか話してみようと思います。



筑波大学
University of Tsukuba

ランチョンセミナー形式で開催します。軽食を取りながら、リラックスした雰囲気での研究交流を図ることを目指しています。今年度は、コーヒーとドーナツをご用意することになりました。お弁当やお好きな飲み物は、どうぞ自由にお持ち込みください。研究内容に限らず、ちょっとした話題でも構いません。気軽に参加できるオープンな雰囲気を大切にしていますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

